

副専攻名 フィールド文化学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」を学ぶほか、一定の専門性をもった科目の選択によって、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力を付ける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
21201	フィールド文化学概説A	フィールドワークという方法の長所と短所、面白さと難しさ等について知り、「フィールド文化学」の基礎を学ぶ。	1			*	
21202	フィールド文化学概説B	フィールドワークという方法の長所と短所、面白さと難しさ等について知り、「フィールド文化学」の基礎を学ぶ。	1				*
21203	比較文化学概説A	南アジアの仏教美術を理解するとともに、人間の文化的所産としての宗教を、幅広い視野から考察することをめざす。あわせて、仏教の基本的な考え方を身につける。	2			*	
21204	比較文化学概説B	日本の仏教建築、神社建築に見られる伝統的な建築技術の変遷を通して日本文化の形成とその発展の過程を理解する。	2			*	
21205	文化人類学概説A	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、自分とは異なる異文化・異社会の人びととの理解や協調の基礎作りをする。	2		*		
21206	文化人類学概説B	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、自分とは異なる異文化・異社会の人びととの理解や協調の基礎作りをする。	2		*		
21207	文化遺産学概説A	いわゆる有形・無形の別を問わず、また、日本国内ばかりではなく世界各地の事例についても、文化遺産全般に対する関心を高め、併せて基礎的な知識を習得する。	2				*

副専攻名 フィールド文化学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」を学ぶほか、一定の専門性をもった科目の選択によって、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力を付ける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
21208	文化遺産学概説B	いわゆる有形・無形の別を問わず、また、日本国内ばかりではなく世界各地の事例についても、文化遺産全般に対する関心を高め、併せて基礎的な知識を習得する。	2				*
21209	考古学概説A	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する能力を習得する。	2～4	*			
21210	考古学概説B	様々な考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域の歴史を復元する能力を習得する。	2～4	*			
21211	フィールド調査法A	人文系フィールドワークがどのようなものであるのか、また、どのような技術が必要であるのかについて学ぶ。	2	*			
21212	フィールド調査法B	フィールドワークにより得た資料をどのように整理・分析し、新たな知見を得るのかを学ぶ。	2		*		
41464	仏教文化論	インドで起こり、日本を含むアジア各地に伝播した仏教が、それぞれの地域と時代でどのような文化を生み出したかを学ぶ。	2～4	*			
41463	比較文化論	世界の歴史的建造物を通して、建築が文化の表現であり、民族性、社会性などを読み取ることができるようにする。	2、3年			*	
41466	日本の思想と宗教	仏教思想を中心に日本の思想と宗教に関する基礎的な知識と分析方法を習得する。	2、3年		*		
41465	南アジア文化論	仏教石窟、ヒンドゥー教寺院を通して、建築文化の融合の様相を把握できるようにする。	2～4				*

副専攻名 フィールド文化学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」を学ぶほか、一定の専門性をもった科目の選択によって、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力を付ける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41863	文化交流史	異なる文化圏をまたがる文化現象を対象に、文化の伝播と、それによって生じる受容と変容を考察し、文化史研究の方法論を学ぶ。	2～4	*			
41406	宗教文化論	宗教のさまざまな文化を対象に、その特徴、背後にある人々の考え方、社会との関係などを学ぶ。	2～4		*		
41865	建築史A	日本の寺院、神社、住宅について、その建築的手法とそれぞれの相違と共通点、歴史的背景について学ぶ。	2～4				
41866	建築史B	主に西ヨーロッパのキリスト教寺院について、その建築的手法と歴史的背景を把握するようにする。	2～4				
41468	比較民族誌	東南アジアの、民族状況や民族の生活を学ぶことを通して、異文化理解の力を身につける。	2～4				
41469	文化人類学講義	「伝統」および「現代」に関して、世界中の具体的な事例をとりあげながら、その概念および実態を学ぶ。	2～4			*	
41467	地域文化論	文化人類学の視点から見た地域文化のあり方を、具体的事例検討を通じて把握する。	2、3年				
41867	西洋美術史C	ロマネスク・ゴシック期の美術について、その時代背景を踏まえて、作品の主題と表現を考察できるようにする。	2～4				
41868	西洋美術史D	西欧におけるルネサンス美術について、その時代背景を踏まえて、作品の主題と表現を考察できるようにする。	2～4				
41869	比較美術史A	キリスト教美術における図像学の重要性について理解する。	2～4				

副専攻名 フィールド文化学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」を学ぶほか、一定の専門性をもった科目の選択によって、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力を付ける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41870	比較美術史B	美術作品を視覚的かつ歴史的に洞察し、現代的視野でアプローチすることができるようにする。	2～4				
41475	古代文明論	世界各地の古代文明の成立・発展・衰退の過程について、考古資料、建築資料、図像資料、文字資料などを駆使して研究する方法を学ぶ。	2、3年		*		
41475	古代文明論	世界各地の古代文明の成立・発展・衰退の過程について、考古資料、建築資料、図像資料、文字資料などを駆使して研究する方法を学ぶ。	2、3年		*		
41470	東アジア文化遺産学A	文化遺産学・考古学の方法により、東アジア文化を理解する方法を学ぶ。	2～4				
41471	東アジア文化遺産学B	文化遺産学・考古学の方法により、東アジア文化を理解する方法を学ぶ。	2～4				
41476	地域考古学A1	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41478	地域考古学A2	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41477	地域考古学B1	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41479	地域考古学B2	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4				
41480	比較考古学A1	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41482	比較考古学A2	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				

副専攻名 フィールド文化学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

1年次には、フィールド調査やそれをベースにした研究方法について、「フィールド文化学概説」を中心に学ぶ。2年次以降は、比較文化学、文化人類学、文化遺産学の各フィールド系研究領域における基本的な考え方を習得するため、「比較文化学概説」、「文化人類学概説」、「文化遺産学概説」を学ぶほか、一定の専門性をもった科目の選択によって、調査レポート作成や研究発表のプレゼンテーションの力を付ける。

副専攻の学習成果

人類の文化や社会に関するさまざまな問題に、総合的・学際的な視野からフィールドワークを中心にアプローチし、得られた情報を論理的に整理・分析・考察し、説得力ある結論を導くことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41481	比較考古学B1	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				
41483	比較考古学B2	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	2～4				